

横浜市永谷地区センター 指定管理者事業計画書			
申込年月日 令和3年 7月 2日			
団体名	株式会社 有隣堂		
代表者名	代表取締役社長 松信 健太郎	設立年月日	1909年 12月 13日
団体所在地	横浜市戸塚区品濃町 881-16 (登記簿上所在地 横浜市中区伊勢佐木町 1-4-1)		
電話番号	045-825-5551	FAX 番号	045-825-5520
沿革	<p>明治 42年 12月 13日 初代松信大助により創業 書籍雑誌の販売を開始</p> <p>昭和 31年 2月 1日 伊勢佐木町に地下1階地上5階の本社・店舗を竣工</p> <p>平成 3年 5月 5日 東戸塚営業本部ビル完成、外商・管理部門が移転</p> <p>平成 18年 4月 1日 <b>横浜市地区センター4館(市沢・港南台・永谷・竹之丸)の運営開始(指定管理者)</b></p> <p>川崎市全7区図書館委託業務開始</p> <p>平成 18年 10月 13日 プライバシーマーク認証取得</p> <p>平成 19年 4月 1日 大田区大森東図書館運営開始(指定管理者)</p> <p>平成 21年 10月 1日 綾瀬市立図書館運営開始(指定管理者)</p> <p>平成 22年 4月 1日 横浜市山内図書館運営開始(指定管理者)</p> <p>大田区小中学校図書館運営開始</p> <p>平成 23年 4月 1日 横浜市戸塚・都筑図書館・2行政サービスコーナー委託受注</p> <p>厚木市立中央図書館委託業務開始</p> <p>小田原市小中学校図書館支援業務開始</p> <p>平成 24年 4月 1日 横浜国立大学附属横浜中学校図書館支援業務開始</p> <p>平成 26年 4月 1日 <b>横浜市中心郷小机地区センター運営開始(指定管理者)</b></p> <p>平成 27年 4月 1日 横浜市立大学学術情報センター図書館委託業務運営開始</p> <p>平成 28年 4月 1日 <b>横浜市六浦・富岡並木地区センター運営開始(指定管理者)</b></p> <p>令和 2年 6月 1日 小田原駅東口図書館運営開始(指定管理者)</p>		
業務内容	<p>書籍/雑誌/洋書/教科書/地図/事務用品/文房具/OA機器/コンピュータ及びそのソフト開発/スチール家具/教材/楽器/介護機器/印章/コピー・印刷/製本/出版/家具装飾及び室内設備の設計並びに請負/家庭用電気製品/日用品雑貨/損害保険代理業/音楽教室の運営/カルチャーセンターの運営/古物の販売/通信販売業/労働者派遣事業/公共施設、文教に関する施設の管理・運営等に関する業務の受託/その他これに対する付帯する一切の業務</p>		
担当者 連絡先	氏名	所属	
	電話	FAX	
	E-mail		

(1) 応募団体に関すること

ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

イ 応募団体の業務における永谷地区センター指定管理業務の位置づけ

ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

経営方針

1. 「有隣」の精神にもとづき、文化、教育に関する商品の販売を通じて地域社会に貢献する。
2. 会社永遠の発展と、従業員の福祉向上のため経営の効率化に努力する。
3. 大専門店の誇りを堅持し、最高水準の仕事を目指して絶えざる研究、努力を行なう。

当社は、上記の「経営方針」に基づき、110年以上にわたり、地域社会の文化・教育に貢献すべく、書籍・文具・OA 機器の販売をしてまいりました。現在は神奈川県内を中心に約 42 店舗及び外商営業拠点を持ち、営業活動しております。平成 18 年度からは地区センターや図書館の指定管理業務を請け負い、港南台・永谷・市沢地区センターは 3 期、山内図書館は 3 期と継続して運営しています。生涯学習事業(出版、音楽教室、カルチャーセンターや「親子の夏休みはかせセミナー」等の開催)にも長く取り組み、地区センターの自主事業でも郷土の講座や地域の課題である健康講座等幅広い分野の講座やイベントを開催しております。

応募団体の業務における 永谷地区センター 指定管理業務の位置づけ

地域の住民との協力で運営する地区センターは、経営方針「地域社会に貢献する」に合致しております。平成 18 年からの地区センター運営では、平成 25 年の城郷小机地区センター、平成 28 年には金沢区の地区センター2 館を受託し、現在では 6 館を運営しており、主幹部門である受託サービス課の業務の柱となっております。この受託業務 15 年の経験から、地域のニーズをとらえ、地域住民の方と一緒に様々な自主事業やサービスを提供し、地域に貢献することにやりがいを感じています。これまでの受託経験では、センターまつりをはじめ、地域と連携した事業を実施し信頼関係を深めてまいりました。特に近隣自治会や近隣の学校長も委員となるセンター委員会では活発なご意見をいただき、運営に反映しました。コロナ禍となるまでは、施設利用以外に多くのイベントに地域の皆様にご利用いただくことが施設の存在価値を高める一翼にもなりましたが、「ニューノーマル」が求められている今後は、イベント頼りではない、施設としての「使いやすさ」「存在価値」といった「底力」を発揮して地域力の活性化の場にしていきたいと考えます。

応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な業績

現在管理運営している主な施設名	所在都道府県市区名	業務開始年月	業務区分
横浜市城郷小机地区センター	横浜市港北区	平成 25 年 4 月	指定管理
横浜市港南台地区センター	横浜市港南区	平成 18 年 4 月	指定管理
横浜市永谷地区センター	横浜市港南区	平成 18 年 4 月	指定管理
横浜市市沢地区センター	横浜市旭区	平成 18 年 4 月	指定管理
横浜市六浦地区センター	横浜市金沢区	平成 28 年 4 月	指定管理
横浜市富岡並木地区センター	横浜市金沢区	平成 28 年 4 月	指定管理
横浜市山内図書館	横浜市青葉区	平成 22 年 4 月	指定管理

令和 3 年 6 月現在の総数 22 施設

(2) 永谷地区センター管理運営業務の基本方針について

- ア 設置目的、区政運営上の位置付け
- イ 地域特性、地域ニーズ
- ウ 公の施設としての管理

設置目的、区政運営上の位置づけ

地区センター設置目的:「地域住民の自主活動や相互交流を深めるための魅力のある施設」

区政運営の基本目標 :『愛あふれる ふるさと港南に』

当社は、地区センターの設置目的と区政運営上の位置づけを鑑みて、永谷地区センターを地域に寄り添い「地域力を育む憩いの場」として運営してまいります。



地域特性、地域ニーズ

永谷地域の人口は5年前と比較し、65歳以上が103%と上昇傾向にあるのに対し、19歳から64歳までの大人世代は97%、18歳以下の子ども世代は93%と減少し、少子高齢化が顕著です。実際の利用者比率も令和2年度は約47%が65歳以上と、高齢者の利用が目立ちます。区においては、「健康アクションこうなん5」で、高齢者をはじめ誰もが健やかに健康寿命を延ばす取り組みを進めています。

区民意識調査では、子育てをする人が交流する場が少ないと感じており、地域コミュニティに関して困っていることは、「地域の中で住民同士が交流する機会が少ない・ほとんどない」が29%と前回より増加しています。地区センターでの交流の機会が増えることで地域力の活性化が期待されています。

地域ニーズ

- ① 高齢化社会における施設対応や、シニアの元気を育む健康づくり事業が求められる
- ② 保護者が安心して子育てができ、情報交換等のコミュニケーションがとれる環境づくりが必要
- ③ お互いに信頼し合い、助け合うコミュニティを生み出す地域力の活性化が期待されている



運営に反映

- ① 施設利用の快適さを向上させる取組みと、健康に関する事業の開催
- ② 子育て世代を支援する企画の実施と、居心地の良い空間づくり
- ③ 地域と協働で「出会いと繋がりを創出する機会」として利用促進

公の施設としての管理

地区センターは、指定管理者制度が導入された現在も、公の施設であることに変わりありません。これを念頭において、どの利用者に対しても人権を尊重し法令遵守を基本として運営してまいります。

- ①施設利用に際し、誰にでも平等かつ公平な接遇を行います。地区センターは老若男女問わず、様々な方が利用されています。誰に対しても平等かつ公平に接遇して、特定の方に有利あるいは不利になるような運営は致しません。
- ②利用者からのニーズを積極的に取り入れ、利用者満足度を高めます。
- ③維持管理・保全計画を作成実行し、安全・安心な施設提供を行ないます。施設を常に良好に保ち、利用者が安心して憩える快適な空間を提供します。
- ④防災計画や緊急時対応マニュアル等を作成し、危機管理に対応した運営をします。

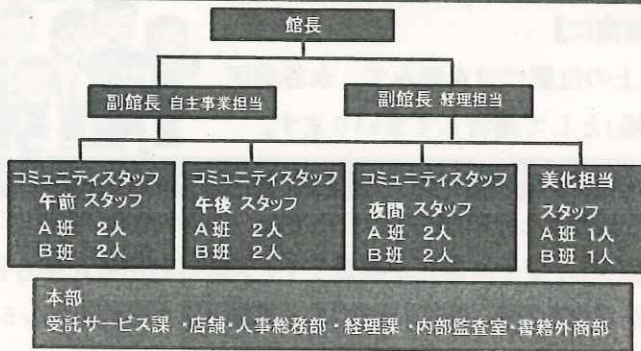
プライバシーマーク認証番号取得企業としての定期的な個人情報保護研修やコンプライアンス研修を行い、各種法令を遵守した運営を行います。

(3) 組織体制

ア 管理運営に必要な組織、人員体制

スタッフが笑顔で利用者を迎える地区センターは、安心感や快適な環境を提供します。スタッフ全員が地区センターの仕事にやりがいを持ち、助け合い、安心して働ける運営体制をつくります。

組織・人員体制



永谷地区センターは、館長 1 名、副館長 2 名の常勤職員が 3 名の体制を執ります。副館長は自主事業及び広報担当の自主事業担当と、経理及び図書担当の経理担当を配置します。また、窓口担当のコミュニティスタッフと清掃担当の美化担当スタッフを配置します。

職位	区分	人数	所掌事務	頻度	休日
館長	契約社員	1	管理運営責任者、地区センター委員会の運営、渉外	防火管理者資格取得、マネジメント経験者、サービス業経験者	週2日
副館長 自主事業担当	契約社員	1	自主事業の企画立案・実施、地区センターだより等の広報担当	企画力と創造力がある。パソコンスキルがあり、ポスターやチラシ作成等の広報業務ができる。	
副館長 経理担当	契約社員	1	地区センターの予算管理、図書の管理	パソコンスキルがあり、弊社会計ツールを使うことができる。図書の知識がある。	
コミュニティ スタッフ	アルバイト	12	カウンター対応、施設利用の受付、施設利用後の点検等	パソコンの入力スキルがあり、チームワークが取れる。	隔週で 休み
美化担当 スタッフ	アルバイト	2	館内の清掃、美化	清掃好きで、清掃手順やルールが守れる。	

本部

- ◇受託サービス課・・・担当者が定期的に地区センターを訪問。運営状況の把握とフォロー。緊急時対応。
- ◇店舗・・・店舗ノウハウを活かした掲示物等の作成支援。
- ◇人事部、総務部、経理課、内部監査室・・・労務管理、個人情報保護担当の事務局等による教育研修のサポート。地区センター経理の監査とフォロー。コンプライアンスに関する教育と監査。
- ◇書籍外商部・・・図書整理及び販売部門による修理・図書装備等の研修や、図書情報の提供。

勤務体制

館長と副館長は、早番・遅番の勤務体制をとり、原則として館長もしくは副館長が在席します。スタッフは1日3交代とし、2班体制にして1週間交代で勤務します。交代時の申し送りを漏れなく行い、役割の明確化と運営状況の共有化を徹底します。以下の表は、勤務体制の例です。

	人数	8:30	8:40	11:30	12:40	13:00	16:40	17:00	21:00	21:15
館長	1				申し送り					
副館長	1						申し送り			
午前スタッフ	2									
午後スタッフ	2			申し送り						
夜間スタッフ	2						申し送り			
美化スタッフ	1									

(3) 組織体制

イ 個人情報保護等の体制と研修計画

地区センター運営に際し、基本協定における「個人情報取扱特記事項」を遵守します。また「個人情報に関する法律」および「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い、利用者に安心して地区センターを利用していただくために、個人情報の取扱いには細心の注意を払ってまいります。

個人情報保護等の体制

1. 個人情報保護

個人情報保護の観点から、当社は2006年に財団法人日本情報処理開発協会に認定を受け、「プライバシーマーク」認証番号10590041を取得し、既に8回更新しています。それに伴い「プライバシーマネジメントシステム(YPMS)委員会」という運営管理機関を設立し、社内の教育体制・監査・緊急体制等の管理を行っています。永谷地区センターにおいても同様に本部より派遣された監査員が定期的に監査を行います。

また館長を個人情報管理者とし、館内の個人情報の取扱いの指導・監督、守秘義務の徹底、個人情報の漏洩・滅失・棄損の防止を行います。

2. コンプライアンス

社会を構成する一企業として法令を遵守し倫理性を持って企業活動を行っていく必要があると考えます。そのため社内取締役会直轄の「コンプライアンス委員会」を設置し、委員会を通じて従業員は教育を受け、法令の遵守に努めています。従業員には「エシックスカード」(行動指針)の携帯を義務付け、一人一人がコンプライアンスを意識し、行動をとるよう指導しています。



10590041(08)

【プライバシーマーク】

研修計画

研修名	研修内容	頻度	参加者
館長会	館長同士が意見が交換できる場を作り、各館の様々な問題に全員で取り組むことにより情報を共有化する。	年2回	館長
副館長会(自主)	弊社担当者を交え、人気の講座の紹介やアンケートの結果報告等、ニーズを分析して各館の自主事業の立案に活かす。	年2回	副館長
副館長会(経理)	予算執行の進捗、経費節減の実践例や予算の効果的な運用を話し合い、各館の運営に反映させる。	月1回	副館長
接遇研修	弊社の人材開発室からの講師を迎え、接遇・クレーム対応等スキル向上を図る。	年1回	全員
人権研修	身の回りにおける人権に関する知識とそれを尊重する大切さを学ぶ。	年1回	全員
業務確認研修	日常業務の手順や機材取り扱い確認を行い、スタッフ全員の資質向上に繋げる。	年1回	スタッフ
個人情報保護研修	個人情報取扱研修を実施し、本部より監査員を派遣し内部監査を行う。	年2回	全員
コンプライアンス研修	エシックスカードの読み合わせ等を行い、法令順守を心掛ける。	年1回	全員
防災研修	消防署より講師を招いた訓練、AEDの取扱い・消火器の位置、避難経路等を確認し万全の体制を整える。	年2回	全員
認知症サポーター研修	認知症について正しい理解と対応方法を学ぶ。	年1回	全員

※区が主催する研修会には積極的に参加します。

(3) 組織体制

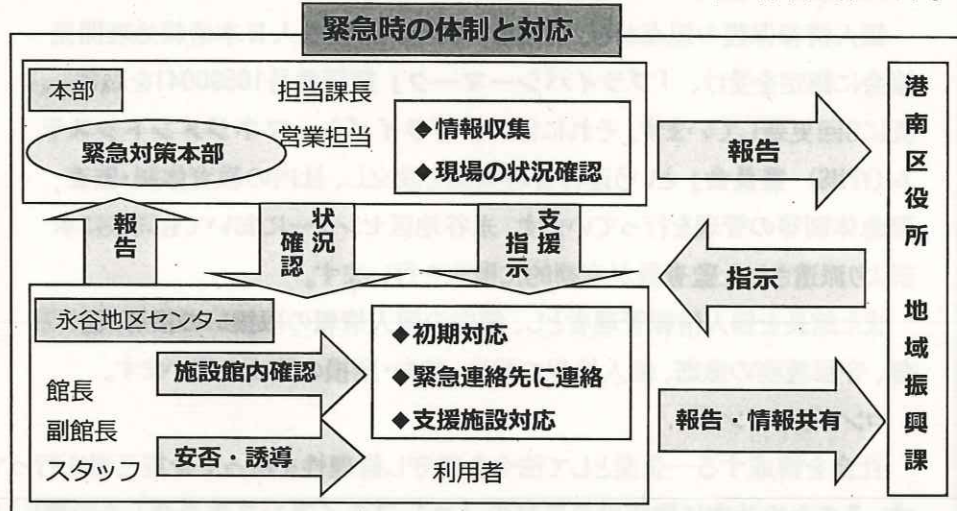
ウ 緊急時の体制と対応計画

緊急時の体制

館長・副館長を中心として全スタッフの緊急時連絡網を作成します。実際に緊急事態が発生した場合には、役割分担通りに利用者の誘導・救出を速やかに実施するようにします。また、災害対応・事故防止・対応マニュアルを整備し事故・災害・犯罪・急病等いざというときに的確な措置がとれるような体制を作ります。



【緊急時の備え】



緊急時の対応計画

1. 防犯への取組み

- ① 定期的な巡回によりセキュリティーを強化し、犯罪を未然に防ぎます。
- ② 警察・自治会・学校等と協力・連携し防犯活動を行っていきます。
- ③ スタッフに対する接遇研修を実施し、挨拶・声かけ等を実施することにより、犯罪が起こりにくい雰囲気作りを心がけます。



【AED操作講習】

2. 防災への取組み

- ① 区の防災計画を踏まえ、利用者・スタッフの安全確保と被害を最小限にとどめるための防災計画を作成します。年1回計画を点検し、必要に応じて改定します。
- ② 防災訓練を実施し、AEDの取り扱い講習等を含めて年2回実施します。
- ③ 地震等の災害に備えた館内点検を実施し、落下・転倒防止、避難経路の確保等を行います。
- ④ 災害時は、横浜市防災計画に基づく補完施設として開設します。
- ⑤ 「防災かるた」を館内に置き利用者に貸し出す事で、防災意識を高める取組みを行います。

3. 事故予防への取組み

- ① 定期的な巡回で施設設備の故障など、事故につながる危険がないか確認します。
- ② ヒヤリハット事例の共有化を行い、利用者の要望を受け止め、事故予防に万全を期します。
- ③ 修繕を要する箇所を常に把握し、長寿命化に貢献する修繕を行うことで安心安全な施設の維持管理を行います。

(4) 施設の運営計画

- ア 設置理念を実現する運営内容
- イ 利用促進策

設置理念を実現する運営内容

地域住民が「相互交流を深め、繋がり、支えあうこと」ができるよう、積極的に住民の交流・活動に関わり、地区センターを「地域力を育む憩いの場」として運営してまいります。

①地域の声を最大限に生かし、憩いの場として運営

利用者会議やアンケートでのご意見、そして日々の利用者の声を運営に反映します。また、各町内会と連携を密に取ることで地域の課題を吸い上げ、地域コミュニティを活発にします。地区センターを知らない住民にも活動を知らせる機会を創出し、気軽に来館できる憩いの場にしていきます。

②サークルとの交流を通して「地域の繋がる力」をUP!

自主事業後の新規サークル立上げの支援や、サークルの周知イベントとしての「地区センターまつり」の開催を通じて地域住民同士を繋げていきます。

利用促進策

①施設予約・自主事業申込・図書貸出予約の Web 活用

当社が導入したインターネットでの施設予約システム「nexres」(ネクレス)は、「毎月抽選のためだけに来館する負担がなくなった」と利用者には大変に好評です。今後は更なる Web 活用で、自主事業の申し込み、図書の予約など便利に、安全に、スピーディーに行う環境を整備することで、ネット利用者のメリットを拡大していきます。また、インターネットを利用できない方にも公平性を配慮し、電話や来館時での対応も引き続き行います。

②フリーWi-Fiの導入

フリーWi-Fiを導入することにより、通常利用時だけでなく、自主事業での活用で利用促進を図ります。

③子ども向け自主事業の充実

令和2年度はコロナ禍の影響で小学生の利用が半減しました。子どもたちにとっても魅力のある仕組みやコンテンツを増やし、さらには近隣小中学校などとの連携を強化し、要望の収集や情報提供を行い、子どもたちの利用を促進します。

④図書コーナーの利便性向上

図書の貸出限度冊数拡大(4冊から5冊)や、新着図書配架の毎月定期化、購入希望図書受付、館内返却BOXの導入など新たな仕組みで、さらに利用しやすい図書コーナーにします。

また、子ども向けの図書利用(貸出)スタンプラリーなど貸出し促進イベント実施や、読書感想文課題図書の配架で子どもたちの図書利用を推進します。

⑤コロナ禍での自主事業

コロナ禍での行動制限・抑制下においても、オンライン講座など、少人数・ソーシャルディスタンスを確保し新たな自主事業を実施します。



【オンライン配信による事業】

## (4) 施設の運営計画

## ウ 利用料金の設定について (※地区センターのみ該当)

## 利用料金の設定について

利用者の利便性を考慮し、利用料金はこれまでの金額を踏襲します。その上で、利用促進のための施策を下記の通り実施します。利用率の高い部屋については、ニーズを反映した設定がされていると判断し現状を維持します。また、当日に限り空室であれば、1時間～3時間までの延長を可能とします。

施設や部屋に備え付けている機材を使いやすい状態に維持・管理し、多彩なニーズに応えられる環境を整えます。

【施設料金利用表】

【単位：円】

部屋名	利用時間	3時間枠料金	2時間枠料金	1時間	
小会議室	3時間 9時～12時 12時～15時 15時～18時 18時～20時 2時間 日曜・祝日の 15時～17時	480	320	160	
中会議室		960	640	320	
小・中合わせて 使用の場合		1,440	960	480	
音楽/工芸室		960	640	320	
和室*1		960	640	320	
体育室		A面	660	-	220
		B面	540	-	180
		C面	630	-	210
グループ室*2		3時間	420	-	140
料理室*1		2時間	-	620	310

\*1 夜間割引

和室…午後6時以降 820円/3時間, 料理室…午後5時以降 540円/2時間

\*2 団体利用

午前と、月曜日から金曜日までの午後①

\*3 当日割引(当日予約)

中会議室…午後3時以降 480円/3時間, 日祝最終320円/2時間

中・小会議室…午後3時以降 960円/3時間, 日祝最終640円/2時

和室…午後3時以降 480円/3時間, 日祝最終320円/2時間



(4) 施設の運営計画

- エ 利用者ニーズの把握と運営への反映
- オ 利用者サービス向上の取組
- カ ニーズ対応費の使途について (※地区センターのみ該当)

利用者ニーズの把握と運営への反映

- ①利用者ニーズの把握のため、利用者からの意見・要望の収集に努めます。
- ②把握したニーズは職員会議や全体ミーティング等で検討し、運営に反映します。
- ③利用者からの要望への対応策について館内掲示にて公表します。

ニーズの把握方法	ご意見・ご要望	反映方法の例
自主事業参加者アンケート	年間通して参加できる健康講座を企画して欲しい	次年度に「親子体操」を企画し定期的実施
センター委員会での意見	小中学校と連携して欲しい	定期的に情報交換の機会を設定
利用者会議での意見	館内でWiFiを利用したい	WiFi利用範囲の拡充を検討
カウンターやご意見箱への意見	ロビーの展示品を見やすくして欲しい	地域文化の発祥となった品々の展示

利用者サービスの向上の取組

①中庭を憩いのコミュニティに

道路から離れ安全に区画された中庭に花壇や遊具等の寛げる公園要素を追加し、近隣子どもたちや親子連れが憩える場所にしていきます。

②グループ室を自習室として活用

グループ室の個人利用時間を「自習室」として位置づけ、勉強をする方のスペースとして、図書閲覧コーナーと棲み分けをします。



【グループ室】

③ロビーにBGM放送

ロビー等にBGMを流し、静かだからこそ気になる会話や雑音を中和し、より利用しやすい環境とすることで利用者サービスの向上を図ります。

④コピーサービスのカラー対応

カラーコピーの要望が増えたため、コピーサービスコーナーのコピー機をカラーコピー機に入れ替え、支払方法も現金授受からコイン式に変更して、利便性を向上します。

ニーズ対応費の使途について

利用者の要望を把握し、効果的かつ計画的に執行します。施設利用報告等から備品や物品への要望を把握し、購入を検討します。高齢者や子育て世代の利便性を意識した対応を重点的に行い、利用者満足度の向上を図ります。施設・設備の安全、安心のための使途も確保します。

利用者からのニーズ	割合	使途	効果
感染防止対策の徹底	30%	CO2濃度測定器、サーマルカメラの導入など	感染防止対策と利用者満足度の向上
児童図書の充実、返却が面倒	30%	児童書の拡充と返却BOX設置	児童の利用者増加と利用者利便性の向上
センターまつり	20%	展示パネル等の備品や抽選会の景品	参加者の増加と満足度の向上
インターネットを使いたい	10%	フリーWi-Fi環境の整備	SNSなどの利用促進
災害時の備え	10%	災害時用の水や食糧	災害時に向けての備蓄

## (4) 施設の運営計画

## キ 本市重要施策に対する取組

## 本市重要施策に対する取組

## ①情報公開

アンケート調査結果、利用者会議・地区センター委員会議事録、決算書等の地区センター運営に関する情報は、掲示または閲覧等により積極的に公開します。また、情報公開規定については館長・副館長が年度初めに研修を受け、請求時における対処方法を学びます。

## ②人権尊重

すべてのスタッフが人権問題を正しく理解し、自分の問題としてとらえられるように、人権に関するビデオの視聴や講師派遣による人権研修を行います。

## ③環境への配慮

横浜市環境管理計画に則り、今出来る「エコ活」を行います。  
スタッフに注意喚起し、リデュース・リユース・リサイクル(3R夢プラン)を実践して、環境負荷の低減に努めます。ゴミの発生を抑止するために、「分別の徹底」「マイバック・マイボトルなどのMy(マイ)の実践」を行います。



【3R夢プランの実践】

## ④市内中小企業優先発注

物品の調達や維持管理業務等に関して、地元中小企業に優先発注します。

## ⑤障害者福祉政策

基本目標である「障害のある人もない人も誰もが人格と個性を尊重し合いながら地域共生社会の一員として自らの意思により自分らしくいきるまちヨコハマを目指す」を受け、また、障害者差別解消法を鑑み、合理的配慮を行うとともに誰もが平等に利用できる地区センターを目指します。

## ⑥男女共同参画政策

従事者は、職員・コミュニティスタッフ共に女性が多く、地域のコーディネーターとして活躍しています。また、自主事業では、働く女性を応援する講座や男性向けの料理講座を開催します。

## ⑦地域の課題や情報の共有を図る体制

日ごろより利用者・自治会・近隣の公共施設とのコミュニケーションを図り、地域の課題や情報を共有出来る体制を整備します。具体的にはセンター委員会の他、館長が連合自治会や近隣小学校の運動会へ参加する等してコミュニケーションを図ります。

(5) 自主事業計画

当社はこれまでの15年間、あらゆる世代が楽しめて参加しやすい自主事業の実現を目指し、企画・実施を行ってまいりました。その中で好評を博したものとサークル化に繋がったものについてはアレンジを加えながら継続し、より長く楽しめるよう発展を促します。これからは地域ニーズを鑑みて、健康づくりに役立つ事業や子育て世代を支援する事業を実施します。交流や周知を目的とした様々なイベントで地域の出会いと繋がりを創出し、「ふるさと港南」を支えるコミュニティを生み出してまいります。

自主事業計画の基本的な考え方

- ①老若男女、すべての世代をターゲットにし、「自分も参加してみたい!」という企画を行います。
- ②「出会いと繋がりを創出する機会」として、地域と協働で行う交流型のイベントや、地区センターのPRを兼ねた周知事業を積極的に行っていきます。
- ③カルチャーセンターの質を手軽な価格で提供し、初めてでも気軽に参加できる講座を行います。また、自主事業の曜日や時間設定は、参加後のサークル化がしやすいように考慮します。

自主事業企画の特徴

- ①「横浜」「神奈川」という地域色を活かした企画  
「ファンケル」など横浜市内の企業との協賛企画を行います。また、「街のアドバイザー」の方の企画も意欲的に取り入れ、地域在住の講師のスキルを存分に発揮して頂きます。
  - ②サークル団体の発表の場づくり  
地区センターで活動するサークルの発表の場として、ダンスフェスタや七夕コンサートなどを行い、活動発表の機会を作ることで、利用者の楽しみ・励みとなるようにします。
  - ③書店ノウハウ・民間ノウハウの発揮  
書店のノウハウを活用して、おはなし会や読書スタンプラリー等の企画を行います。また、地区センターや図書館の運営で培ったノウハウを活かして講座の水平展開を行います。
- 下記の4つのテーマを柱に、独自性を持った多種多様な企画事業を展開していきます。

①健康と美容  
実技と座学で健康づくり

- ・朝イチ健康体操
- ・ふるさと永谷を歩く
- ・生き生きメイクアップ



②子育て支援  
親子参加の講座で  
コミュニティ醸成

- ・ひまわりのへや
- ・赤ちゃんとペアで知育遊び



③生涯学習  
趣味の発掘と交流  
の場の創造

- ・自分史を作ろう
- ・季節を感じる折り紙教室



④ふれあい交流  
地域住民の交流  
イベント

- ・ダンスフェスタ
- ・七夕コンサート
- ・フリーマーケット



## (6) 施設の維持管理計画

## 維持管理の考え方

施設及び設備の保守管理、点検、修繕、清掃等の維持管理は、地区センターでの管理経験・ノウハウを持つ横浜市内の専門業者に優先して委託します。専門業者による管理は、年間の維持管理計画書に則り実施します。また、設備や設備機器の長寿命化を図るために、日常業務及び定期業務での不具合箇所の早期発見・早期補修を実施します。日常的な施設管理は、「快適」「安全」「安心」を確保するために、巡回時チェック表を用いてスタッフによる点検・清掃業務等を行います。

## 維持管理計画書

- ①各専門業者の維持管理計画書に基づき施設管理計画を策定し、定期作業及び定期点検の内容を明確にします。また、施設管理状況について、月次報告書を区に提出します。
- ②施設の長寿命化を重視し予防保全に努め、ライフサイクルコストの縮減を図ります。定期点検で修繕箇所のリストアップと対処を行い、故障・不具合発生のを速やかに摘み取ります。

## 【施設管理計画(案)】

項目	業務	内容	年回数	実施月
電気・機械設備	設備巡視点検	設備巡視点検	12	毎月
	空調機保守点検及び冷暖房機器保守点検	中央監視装置点検	1	1月
	冷暖房設備保守点検	冷温水発生器保守点検	4	5・8・11・2月
	電気設備保守	直流電源装置保守	2	7・1月
	電気設備点検(高圧受電以上)電気工作物安全管理	巡視点検(毎月1回) 定期点検(年1回)	12	毎月
衛生管理	レジオネラ属菌検査	水質検査	2	7・8月
	簡易水道検査	水質検査	1	10月
	冷水器保守点検	定期保守	1	4月
	自動流水器点検	定期点検	2	7・12月
建物等	消防用設備点検	定期点検	2	8・2月
	昇降機点検	定期点検	12	毎月
	自動ドア点検	定期点検	4	5,8,11,2月
	機械警備点検	機械警備	12	毎月
清掃等	清掃業務	塩ビ床洗浄樹脂ワックス塗布作業他	6	5,7,9,12,1,3月
		空調換気扇 熱交換機及びフィルター点検清掃	1	7月
		受水槽清掃・水質検査10項目	1	11月
	害虫駆除	害虫駆除防除	2	9,3月

## 日常点検による効率化

- ①スタッフによる日常点検は、「巡回チェック表」、「業務マニュアル」を使用し、全スタッフが一定水準で効率的かつ確実に実施します。
- ②日常清掃は美化担当の他、午前、午後、夜間の清掃分担を決め、「美化スタッフ業務チェックリスト」に基づく清掃及び消耗品の点検を実施します。防犯上の安全・安心を確保するために、定期点検とは別に開館前、午前、午後、夜間と定期的に職員が巡視し、不具合箇所や危険がないか点検します。施設を常に良好な状態に保つよう努めます。



【巡回チェック表】

- ②事務室内に「ヒヤリハット報告書」を設置し、スタッフや利用者から備品の破損、修繕箇所などの情報を収集します。職員会議などで定期的に情報共有し、改善案を話し合います。

(7) 収支計画(収入計画)

ア 収入計画の考え方について

イ 増収策について(※利用料金収入は、地区センターのみ該当)

収入計画の考え方について

永谷地区センターは開館から34年が経ち、修繕を要する箇所も増えています。限られた予算の中でも安心安全な施設運営を行えるように、指定管理料だけに頼らず他の収入も増やしてまいります。収入の内容は、指定管理料の他に施設利用料金収入、自主事業収入、自販機手数料収入等による雑収入ととらえ、それぞれを増収する計画です。

増収策について

①施設利用料金収入

体育室とグループ室、工芸室は稼働率が50%以上ですが、稼働率UPにつなげるために備品の充実や多様な利用方法を展開します。また、すでに導入した施設予約システムの活用を、SNS等を使い広めることで新たな利用者を開拓します。

(案) 音楽・工芸室に通信カラオケの設置

感染症防止対策を行い、通信カラオケをリースし有料貸出しすることで、稼働率の向上を図ります。

試算 総コマ数4コマ/日、リース料 180,000円/年

カラオケ利用料

500円/コマ×2コマ増想定=1,000円×120日=120,000円

部屋利用料

960円/コマ×2コマ増想定=1,920円×120日=230,400円

170,400円増収



【施設予約システムの画面】



【音楽・工芸室】

②自主事業収入

多くの参加を促す魅力的な企画を行うとともに、年間を通して開催することで継続的な参加が見込める事業を実施して収入を確保します。子どもたちの好奇心をそそる事業や、人気のある講座を拡充し、サークル化の可能性が高いニーズのある事業にも取り組んでまいります。

(案) 和室でヨガの自主事業を実施

現在和室の稼働率は年々下がり、去年は2割程度でした。増収策として和室でヨガの自主事業を行い、サークル化を目指します。

③雑収入

自販機手数料は利用者の求めに応じて商品の見直しを図ることで収入増を実現します。自主事業に関連した品物(語学テキストなど)の販売を地区センターで直接行うことで利用者の利便性を図ります。



【和室でヨガ講座】

(7) 収支計画(支出計画)

ウ 支出計画の考え方について

基本的な考え方

『使うべきところに使い、抑える(削減できる)ところは抑え(削減し)ます。』

利用者や職員・スタッフのニーズ、利用者に施設を快適に過ごしていただくための環境整備、利用者へ還元されるサービス・事業運営費用については積極的に執行します。また、修繕等の発注、物品の調達等に当たっては、市内中小企業への優先発注に努めます。計画的な予算執行のために、年度初めに費目毎の予算額を決定し、毎月の進捗状況を把握していきます。

①増収分は施設修繕費や必要な備品や消耗品購入に充てる等、利用者へ還元します。

②ニーズ対応費は、利用者要望を反映した費目に配賦し、利用者満足度を上げていく使い方をします(参照:(4)施設の運営計画 カ ニーズ対応費の使途)。

経費削減策

①5万円以上の備品購入時は、2社以上から見積をとります。また、本部決裁の手続きをし、安易な購入に歯止めを掛けます。

②令和2年度には、外灯の順次LED化を進めて、電気料金削減による経費の削減を行いました。今後も館内の照明をLEDに交換する計画を策定し、LED化することで電気料金の節減に努めます。

③図書や文房具、コピー機等当社で扱いのある商品は、社内価格にして経費を抑えます。

予算管理の方法

①当社は地区センターの経費を管理するため「地区センター経理規程」を策定し、規程に則った処理を徹底しています。

②年度初めに費目毎の執行予算を策定します。費目毎の予算は経理担当副館長と本部担当者が利用者のニーズや前年度の実績を分析・考慮し、どの予算を重点的に補強するかなどを話し合っ決めていきます。



【会計報告会の様子】

③執行した予算は、当社独自の会計システム「地区センター会計ツール」に入力して管理します(下記フロー図参照)。



(8) 新型コロナウイルス感染症等に係る対応

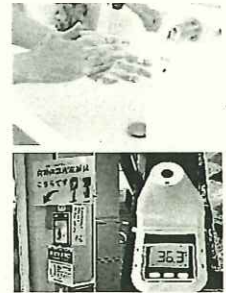
- 基本的な感染対策等
- 事業計画の工夫

横浜市の「新型コロナウイルス感染症に対する各施設での対応について」および当社「新型コロナウイルス感染及び感染疑い者発生時の対応マニュアル」に基づき適切に対応します。

基本的な感染対策等

①来館者

- 消毒の徹底および体調点検:入口でのアルコール手指消毒や手洗いの励行を促し、非接触サーモカメラにより来館者自身が体調を確認できるようにします。また、必要に応じてスタッフによる検温も実施します。部屋利用時は消毒キットを貸出し、利用者の感染防止を支援します。
- 感染予防:掲示物によりマスクの常時着用を促します。
- 濃厚接触の回避:床面サインなどでカウンターや娯楽室などでの人・椅子・机の間隔を確保します。また、状況によって飲食禁止(水分補給を除く)や大声禁止等のお願いをします。



②施設・備品

- 環境管理:カウンター等でのビニールシート遮蔽による飛沫拡散防止やCO2濃度計測器と熱中症指数測定器による換気や冷房・湿度の調節に努めます。網戸のない部屋には簡易網戸を設置し夏場の換気に努めます。また、共有部分の消毒・清掃を実施します。
- 備品管理:碁石、将棋の駒、オセロなどの遊具は洗浄や消毒をしたうえで貸出します。
- 情報発信:LINEコロナお知らせシステムの活用とホームページやTwitterで館の対応を伝えます。

③スタッフ

- 消毒の徹底および体調点検:出勤時の検温及び体調確認、手洗いと手指消毒に努めます。
- 感染予防:マスクを常時着用し、必要に応じて適宜フェイスシールド、手袋を使用します。
- 濃厚接触の回避:休憩時の黙食やマスク未着用での会話の禁止を徹底します。
- 感染者発生時は速やかに区に報告し、区の指示と当社マニュアルに則り感染拡大防止に努めます。

事業計画の工夫

①感染症予防を前提とした事業の実施

講座やイベント実施に際し、少人数の定員で入室時の消毒や十分な席間隔の確保に努めます。

②オンライン自主事業の実施

昨年度末に他の施設で実施したオンラインでの座禅講座の実施などを踏まえ、来館せずに参加できるオンラインの自主事業を実施します。参加費の徴収はWebによる課金システムを活用します。

③図書返却ボックスの導入

入口に返却ボックスを設置し、入館せずに図書の返却をできるようにすることで、利用者同士またはスタッフとの接触機会を減らします。

④図書のネット予約システム

利便性を高めるためにGoogleフォームなどを利用した、パソコンやスマートフォンによる予約図書取り置きサービスの導入を検討します。



## 横浜市永谷地区センター自主事業計画書

団体名 株式会社 有隣堂

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
【健康と美容講座】 健康体操 全10回×年2回	一般	122,000	2,000	120,000	112,000	10,000	0
	20名						
	3,000円						
【健康と美容講座】 活き活きメイクアップ 全1回	一般	4,200	4,200	0	0	4,200	0
	14名						
	0円						
【健康と美容講座】 ふるさと永谷と戸塚の昔を歩く 全3回×年2回	一般	34,800	13,200	21,600	30,000	4,800	0
	12名						
	900円						
【健康と美容講座】 練り切り体験 年4回	一般	66,400	13,600	52,800	22,400	44,000	0
	11名						
	1,200円						
【健康と美容講座】 季節の保存食教室 年2回	一般	43,000	7,800	35,200	10,000	33,000	0
	11名						
	1,600円						
【健康と美容講座】 元調理長から学ぶ中華料理教室 年2回	一般	35,400	9,000	26,400	13,400	22,000	0
	11名						
	1,200円						
【健康と美容講座】 家庭料理教室 年2回	一般	32,100	5,700	26,400	13,400	18,700	0
	11名						
	1,200円						
【健康と美容講座】 イタリア料理教室 年2回	一般	34,600	8,200	26,400	17,000	17,600	0
	11名						
	1,200円						
【健康と美容講座】 朗読とボイストレーニング教室 全2回	一般	6,800	-200	7,000	6,800	0	0
	14名						
	500円						
【健康と美容講座】 ヨガ教室 全6回	一般	36,000	0	36,000	36,000	0	0
	12名						
	3000円						
合 計		415,300	63,500	351,800	261,000	154,300	0

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。



## 横浜市永谷地区センター自主事業計画書

団体名 株式会社 有隣堂

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
【子育て支援】 ひまわりのへや 年4回	未就学児+保護者	22,000	22,000	0	18,000	4,000	0
	5組						
	無料						
【子育て支援】 赤ちゃんとおペアで知育遊び 全3回×年2回	赤ちゃん+保護者	33,600	19,600	14,000	33,600	0	0
	7組						
	1,000円						
【子育て支援】 子ども化学講座 年2回	小学生	25,400	13,400	12,000	13,400	12,000	0
	12名						
	500円						
【子育て支援】 子ども科学あそび 年2回	小学生	20,800	8,800	12,000	11,200	9,600	0
	12名						
	500円						
【子育て支援】 夏のふしぎ発見理科ひろば 全1回	小学生	21,000	11,000	10,000	9,000	12,000	0
	20名						
	500円						
【子育て支援】 子どもアナウンスマス 全2回	小学生	11,200	1,200	10,000	11,200	0	0
	10名						
	1,000円						
【子育て支援】 子ども木工教室 全1回	小学生	9,600	-400	10,000	0	9,600	0
	20名						
	500円						
【子育て支援】 子ども書初め教室 全1回	小学生	10,700	5,700	5,000	6,700	4,000	0
	10名						
	500円						
【子育て支援】 子ども英語教室 全6回	小学生	40,000	4,000	36,000	34,000	6,000	0
	12名						
	3,000円						
【子育て支援】 子どもプログラミング体験 全4回	小学生	5,600	-400	6,000	5,600	0	0
	5名						
	1,200円						
合計		199,900	84,900	115,000	142,700	69,200	0

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

## 横浜市永谷地区センター自主事業計画書

団体名 株式会社 有隣堂

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
【生涯学習】 プレート作り教室 全1回	小学生～一般	15,000	5,400	9,600	7,800	7,200	0
	12名						
	800円						
【生涯学習】 ポーセリンペンダント 全1回	一般	22,200	4,200	18,000	7,800	14,400	0
	12名						
	1,500円						
【生涯学習】 季節を感じる折り紙教室 全3回×年2回	一般	52,800	4,800	48,000	16,800	36,000	0
	12名						
	2,000円						
【生涯学習】 四柱推命 年2回	一般	15,600	▲ 14,400	30,000	15,600	0	0
	10名						
	1,500円						
【生涯学習】 つまみ細工 年3回	一般	43,200	10,200	33,000	23,400	19,800	0
	11名						
	1,000円						
【生涯学習】 自分史を作ろう 全10回	一般	41,000	6,000	35,000	34,000	7,000	0
	10名						
	3500円						
【生涯学習】 墨彩画教室 年2回	一般	24,400	400	24,000	11,200	13,200	0
	12名						
	1,000円						
【生涯学習】 写経体験 全2回	一般	14,800	400	14,400	11,200	3,600	0
	12名						
	1,200円						
【生涯学習】 革細工体験 全1回	一般	32,200	200	32,000	11,200	21,000	0
	8名						
	4000円						
【生涯学習】 風呂敷アレンジ 全2回	一般	18,400	8,400	10,000	13,400	5,000	0
	10名						
	1,000円						
合計		279,600	25,600	254,000	152,400	127,200	0

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

## 横浜市永谷地区センター自主事業計画書

団体名 株式会社 有隣堂

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
【ふれあい交流】 春のコンサート 全1回	どなたでも	55,500	55,500	0	33,500	22,000	0
	100名						
	無料						
【ふれあい交流】 七夕コンサート 全1回	どなたでも	38,500	38,500	0	33,500	5,000	0
	50名						
	無料						
【ふれあい交流】 七夕の短冊を飾ろう 全1回	どなたでも	1,000	1,000	0	0	1,000	0
	100名						
	無料						
【ふれあい交流】 センターまつり 全1回	どなたでも	40,000	40,000	0	0	40,000	0
	100名						
	無料						
【ふれあい交流】 フリーマーケット 全1回	どなたでも	40,000	40,000	0	0	40,000	0
	16区画						
	300円						
【ふれあい交流】 秋のコンサート 全1回	どなたでも	38,500	38,500	0	33,500	5,000	0
	50名						
	無料						
【ふれあい交流】 ダンスフェスタ 全1回	どなたでも	7,000	7,000	0	0	7,000	0
	100名						
	無料						
【ふれあい交流】 クリスマスコンサート 全1回	どなたでも	38,500	38,500	0	33,500	5,000	0
	50名						
	無料						
【ふれあい交流】 囲碁大会 全1回	10級以上	72,000	22,000	50,000	12,000	60,000	0
	50名						
	1,000円						
【ふれあい交流】 バドミントン交流会 全1回	どなたでも	20,000	5,000	15,000	0	20,000	0
	30名						
	500円						
合計		351,000	286,000	65,000	146,000	205,000	0
総計		1,245,800	460,000	785,800	702,100	555,700	0

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

## 横浜市永谷地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 株式会社 有隣堂

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【健康と美容講座】 健康体操	○目的 高齢者の健康を増進させる体操教室を開催することにより、新規来館者の獲得に繋げる。  ○内容 その日の体調に合わせて無理なく、体育館で健康体操を定期的に行う。	4~3月に 10回×2期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【健康と美容講座】 活き活きメイクアップ	○目的 地域の交流の場の一環として認知度の向上、部屋稼働率の向上に繋げる。  ○内容 地元横浜の化粧品会社との協働事業。乾燥肌防止対策や、よりきれいに見せるためのメイク方法を学ぶ。	10~11月に1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【健康と美容講座】 ふるさと永谷と戸塚の昔を歩く	○目的 地区センター周辺の歴史を尋ねることにより、永谷への愛着を深める。地域の仲間作りに貢献する。定期的に歩くことにより健康維持をはかる。  ○内容 永谷と戸塚の歴史探索。初回は地区センターでの歴史講座、次回以降は歴史探索。	4~11月に 3回×2期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【健康と美容講座】 練り切り体験	○目的 人気の講座を継続に開催して、集客・センター認知度、料理室稼働率アップへ繋げる。  ○内容 季節に合わせたテーマで季節感を味わうとともに練り切りの習得を目指す。	4~3月に 4回

## 横浜市永谷地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 有隣堂

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【健康と美容講座】 季節の保存食教室	○目的 集客・センター認知度、料理室稼働率アップへ繋げる。  ○内容 経験豊富な講師から座学を交えて料理を学び、旬の素材を使った保存食作りの習得を目指す。	6～3月に 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【健康と美容講座】 元調理長から学ぶ中華料理教室	○目的 有名店の元調理長を招くことにより、集客の増加を図る。  ○内容 近隣在住の元調理長の技をみたくて、ワンランク上の技術を学ぶ。	4～3月に 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【健康と美容講座】 家庭料理教室	○目的 集客・センター認知度、料理室稼働率アップへ繋げる。  ○内容 時季やイベントに応じた家庭料理を、家庭でも手軽に作れるように学ぶ。	4～3月に 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【健康と美容講座】 イタリア料理教室	○目的 人気の高い料理講座を開催する事により顧客満足度を上げ、集客・センター認知度アップへ繋げる。  ○内容 イタリア料理をイタリア人講師から学ぶ。	4～3月に 2回

## 横浜市永谷地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 株式会社 有隣堂

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【健康と美容講座】 朗読とボイストレーニング教室	○目的 朗読講座を通じ、大きな声を出し表情をすることにより若々しい身体づくりを維持する。既存のサークルを後押しする。  ○内容 プロ講師による発声練習、ボイストレーニング。	7～3月に 2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【健康と美容講座】 ヨガ教室	○目的 健康を増進させるヨガ教室を開催することにより、新規来館者の獲得に繋げる。  ○内容 その日の体調に合わせて無理なく、ヨガを定期的に行う。	4～3月に 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子育て支援】 ひまわりのへや	○目的 子育て支援講座を通じ、同じ子育てをする仲間作りの場を提供し、親子での来館者の増加に繋げる。  ○内容 港南区育児支援グループ「ひまわり」の講師から遊びを教わる。イベントとして開催し、家庭では出来ない広さを生かした遊びを行う。	4月～3月に4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子育て支援】 赤ちゃんパパで知育遊び	○目的 親と子で心が休まるスキンシップを学びつつ、親同士で新しい交流が生まれることで、親子での来館者の増加に繋げる。  ○内容 ベビーマッサージやストレッチの習得を目指す。	4～3月に 3回×2期

## 横浜市永谷地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 有隣堂

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子育て支援】 子ども化学講座	○目的 化学実験を通して次年度への学習意欲を促し、親子での来館者の増加に繋げる。  ○内容 指紋検出とルミノール反応の実験、そのほか様々な化学反応を直接的に体験する。	4月～3月に2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【子育て支援】 子ども科学あそび	○目的 かんたんな科学工作や実験を通して学習意欲を促し、親子での来館者の増加に繋げる。  ○内容 かんたんな科学工作や実験を学ぶ。	4月～3月に2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子育て支援】 夏休み ふしぎ 発見理科ひろば	○目的 ものづくりを通して学習意欲を促し、親子での来館者の増加に繋げる。  ○内容 大手電気メーカーOBクラブとの協働事業。夏休みの課題製作として、ものづくりの楽しさ、達成感を体験する機会を提供する。	8月に1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子育て支援】 子どもアウン スレッシン	○目的 学校で学ぶ機会の少ない「伝える」スキルを学ぶことで学習意欲を促し、親子での来館者の増加に繋げる。  ○内容 元プロのアウンサーに、分かりやすく伝える話し方を学ぶ。	9～3月に2回

## 横浜市永谷地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 株式会社 有隣堂

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子育て支援】 子ども木工教室	○目的 木工を通して学習意欲を促し、親子での来館者の増加に繋げる。  ○内容 NPO法人日本DIY・HC協会との協働事業。経験豊富な講師からレクチャーを受ける。	7月に1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【子育て支援】 子ども書初め教室	○目的 入館者数の拡大、既存サークルの人員増加に繋げる。  ○内容 冬休みの宿題の書初め指導を受ける。	12月に1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子育て支援】 子ども英語教室	○目的 英語への苦手意識を軽減することで、人種を過度に意識したり差別することなく、幅広く交流できる人間形成を促す。  ○内容 基礎的な英語を使って、まず自分から話せるように、複数回の講座で英語の感覚を学ぶ	4月～3月に6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子育て支援】 子どもプログラミング体験	○目的 プログラミング体験を通じて、プログラミングの理解を促進し、物事を論理的に考える力や社会的な対応力をはぐくむ。  ○内容 プログラミングの基本をScratchを使いながら学んで、自分でプログラミングをして発表する。	7月～12月に全4回



## 横浜市永谷地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 有隣堂

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【生涯学習】  プレート作り教室	○目的 ものづくりを通した仲間作りの場を提供し、来館者の増加に繋げる。  ○内容 プレート（皿）に、陶芸用釉薬でできたシールを自由に貼り、デザインを行う。後日プレートを焼き、お渡りする。	7～12月に 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【生涯学習】  ポーセリン ペンダント	○目的 ものづくりを通した仲間作りの場を提供し、来館者の増加に繋げる。  ○内容 陶芸でペンダントヘッドを手作りし、後日に焼き上げてお渡りする。	7～12月に 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【生涯学習】  季節を感じる折り紙教室	○目的 ものづくりを通した仲間作りの場を提供し、来館者の増加に繋げる。指先を使うことにより健康促進をはかる。  ○内容 折り紙で四季折々の作品を制作する。	4～3月に 3回×2期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【生涯学習】  四柱推命	○目的 集客・センター認知度アップへ繋げる。  ○内容 数ある占いの中でも最も優れた占術である四柱推命で運勢を占い、日々の生活に新たな希望を与える。	4～3月に 2回

## 横浜市永谷地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 有隣堂

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【生涯学習】  つまみ細工	○目的 ものづくりを通した仲間作りの場を提供し、来館者の増加に繋げる。指先を使うことにより健康促進をはかる。  ○内容 小さな布を『折り』『つまみ』複数を組み合わせて四季折々の花鳥風月を形作る。	4～3月に 3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【生涯学習】  自分史を作ろう	○目的 自分史づくりを通した仲間作りの場を提供し、来館者の増加、更に認知症予防に繋げる。  ○内容 自分史作りのアドバイザーに作り方のコツを教わり世界に一冊の手作りの冊子を作る。これまで生きてきた経験を形に残し、子や孫に伝える。	4～2月に10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【生涯学習】  墨彩画教室	○目的 墨彩画を通した仲間作りの場を提供し、来館者の増加に繋げる。  ○内容 暑中見舞い、団扇、寒中見舞い、年賀状に墨彩画を描く。	6～3月に2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【生涯学習】  写経体験	○目的 集客・センター認知度アップへ繋げる。  ○内容 写経について学び、毛筆で経文の文字の書き方を習得する。	9～3月に2回

## 横浜市永谷地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 有隣堂

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【生涯学習】 革細工体験	○目的 ものづくりを通じた仲間作りの場を提供し、来館者の増加に繋げる。指先を使うことにより健康促進をはかる。  ○内容 革で、ブックカバーやミニトートバッグを作り、革細工を体験する。	7～3月に1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【生涯学習】 風呂敷アレンジ	○目的 現代の生活の中でふるしきを活かすこと、新たな包みの文化、結びの文化を学ぶことで、日本の文化と環境保護について考えてもらう機会とする  ○内容 ふるしきの伝統の包み方から現代生活に役立つアレンジを学び、ふるしきを使った、マイバッグ作り、インスタントバッグ、トートバッグ、ふるしきリュックなどを体験する。	5～3月に2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【ふれあい交流】 春のコンサート	○目的 地域との交流、入館者数の拡大、施設認知度の強化を図るため 毎年継続して実施。地域の一人暮らしの方を招待し、交流の場として認知してもらう。  ○内容 津軽三味線、落語など和の音楽に親しんでいただく催し物を開催。	4月に1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【ふれあい交流】 七夕コンサート	○目的 地域との交流、入館者数の拡大、施設認知度の強化を図る。  ○内容 ピアノやフルートなどのコンサートを催し、クラシック音楽を楽しんでいただく。	7月に1回

## 横浜市永谷地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 株式会社 有隣堂

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【ふれあい交流】 七夕の短冊を飾ろう	○目的 地域との交流、入館者数の拡大、施設認知度の強化を図るため実施する。  ○内容 地域住民の協力を得て、大きな竹を使って行う恒例行事。	7月に1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【ふれあい交流】 センターまつり	○目的 地域や自治体、サークルとの交流、入館者数の拡大、施設認知度の強化を図るため実施する。  ○内容 地域自治体との恒例の協働事業。サークルによる作品展示、舞台発表、食品販売、フリーマーケット等を企画。	10月に1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【ふれあい交流】 フリーマーケット	○目的 地域との交流、入館者数の拡大、施設認知度の強化を図るため実施する。  ○内容 地域自治体との協働事業。フリーマーケット。	11月に1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【ふれあい交流】 秋のコンサート	○目的 地域との交流、入館者数の拡大、施設認知度の強化を図る。  ○内容 音楽演奏を楽しんでいただく。	11月に1回

## 横浜市永谷地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 有隣堂

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【ふれあい交流】 ダンスフェスタ	○目的 地域との交流、入館者数の拡大、施設認知度の強化を図る。  ○内容 地元の学校やダンス教室に参加を呼び掛け、催しに繋げる。	12月に1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【ふれあい交流】 クリスマスコンサート	○目的 地域との交流、入館者数の拡大、施設認知度の強化を図るため実施する。  ○内容 地域団体との協働事業。キャンドルナイトやクリスマスコンサート、ワークショップなど。	12月に1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【ふれあい交流】 囲碁大会	○目的 恒例の大会を開催。年に1度のビッグイベントとして地元との交流の場に繋げる。  ○内容 段位・級位別にグループ分けし、それぞれ優勝・準優勝・3位・残念賞を選出して賞品を贈呈。	2月に1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【ふれあい交流】 バドミントン交流大会	○目的 地域との交流、入館者数の拡大、施設認知度の強化を図るため実施する。  ○内容 ダブルスで参加をしてもらい、トーナメント形式の試合を行う。参加人数によっては、敗者復活戦も考慮する。	9～11月に1回

単独団体名・共同事業体名	株式会社 有隣堂
施設名	横浜市永谷地区センター

## 令和4年度収支予算書（兼指定管理料提案書）

### I. 指定管理料

（単位：千円）

提案額 (a)	34,098	指定管理料提案額＝小計【イ】を記入 ※区指定上限額 (b) の範囲内で提案してください。
※区指定上限額 (b)	34,151	
差引 (a) - (b)	▲ 53	
提案額の区指定上限額に対する割合 (a) / (b)	99.8%	

### II. 令和4年度収支予算書（総括表）

#### 1 収入の部

項 目	合計金額 (単位：千円)	備 考
利用料金収入 [A]	3,100	
自主事業収入 [B]	785	
雑入 [C]	400	
小 計 【ア】 ([A]～[C])	4,285	施設運営収入の計
指定管理料① [D]	33,065	【ウ】 - 【ア】
指定管理料②（ニーズ対応費分） [E]	1,033	[A] × 1/3
小 計 【イ】 ([D]～[E])	34,098	指定管理料の計
収入合計 ([ア] + 【イ])	38,383	

#### 2 支出の部

項 目	合計金額 (単位：千円)	備 考
人件費 [a]	19,670	
事務費 [b]	2,315	
自主事業費 [c]	1,245	
管理費A（光熱水費等） [d]	4,450	
管理費B（保守管理費等） [e]	5,310	
公租公課 [f]	1,860	
事務経費 [g]	2,500	
小 計 【ウ】 ([a]～[g])	37,350	施設管理運営経費の計
ニーズ対応費 [h] (= [E])	1,033	[E]と同額になります。
小 計 【エ】 ([h])	1,033	ニーズ対応費の計
支出合計 ([ウ] + 【エ])	38,383	

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	株式会社 有隣堂
施設名	横浜市永谷地区センター

## 令和4年度収支予算書

### 1 収入の部内訳 (指定管理料除く)

(単位：千円)

	項目	内容等	金額		
利用料金収入	部屋使用料		ア	3,100	
			イ		
			ウ		
			エ		
			オ		
			カ		
			キ		
			ク		
		ケ			
	小計		[A]	3,100	ア～ケ
自主事業収入	自主事業参加費		コ	785	
			サ		
			シ		
			ス		
		セ			
	小計		[B]	785	コ～セ
雑入	印刷代		ソ	100	
			タ	300	
	自動販売機手数料		チ		
			ツ		
			テ		
			ト		
	小計		[C]	400	ソ～ト

小計【ア】	施設運営収入計	4,285	[A]～[C]
-------	---------	-------	---------

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	株式会社 有隣堂
施設名	横浜市永谷地区センター

令和4年度収支予算書

2 支出の部内訳（ニーズ対応費除く）

(単位：千円)

項目	内容等	金額		
人件費	正規雇用職員	館長1名・副館長2名給与、社会保険料	ア 9,230	
	臨時雇用職員	コミュニティスタッフ14名賃金	イ 9,200	
	対象外の人件費		ウ 1,240	ウ-1~ウ-4
	通勤手当		ウ-1 1,200	
	健康診断費		ウ-2 40	
	勤労者福祉共済掛金		ウ-3 0	
	退職給付引当金繰入額		ウ-4 0	
小計		[a] 19,670	ア~ウ	
事務費	旅費		エ 10	
	消耗品費		オ 600	
	会議賄い費		カ 5	
	印刷製本費		キ 0	
	通信費		ク 340	
	使用料及び賃借料		ケ 22	ケ-1~ケ-2
	横浜市への支払い分	目的外使用料	ケ-1 22	
	その他		ケ-2	
	備品購入費		コ 300	
	図書購入費		サ 500	
	施設賠償責任保険		シ 25	
	職員等研修費		ス 18	
	振込手数料		セ 5	
	リース料		ソ 240	
	手数料	ゴミ処理費	タ 220	
	地域協力費		チ 30	
			ツ	
		テ		
小計		[b] 2,315	エ~テ	
自主事業費		[c] 1,245		
管理費 A	電気料金		ト 2,500	
	ガス料金		ナ 1,400	
	上下水道料金		ニ 550	
	小計		[d] 4,450	ト~ニ
管理費 B	清掃費		ヌ 868	
	修繕費		ネ 600	
	機械警備費		ノ 450	
	設備保全費		ハ 3,392	ハ-1~ハ-6
	空調衛生設備保守		ハ-1 1,808	
	消防設備保守		ハ-2 143	
	電気設備保守		ハ-3 967	
	害虫駆除清掃保守		ハ-4 144	
	駐車場設備保全費		ハ-5 0	
	その他保全費	植栽剪定	ハ-6 330	
共益費		ヒ		
		フ		
		ヘ		
小計		[e] 5,310	ヌ~ヘ	
公租公課	事業所税		ホ	
	消費税		マ 1,860	
	印紙税		ミ	
	その他 ( )		ム	
小計		[f] 1,860	ホ~ム	
事務経費	本部分		メ 2,500	
	当該施設分		モ	
	小計		[g] 2,500	メ~モ
小計【ウ】	施設管理運営経費計	37,350	[a]~[g]	

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

※公租公課欄には、仕入税額控除後の消費税及び地方消費税見込額、その他税額を記載してください。